

2008 年度秋学期「EU 日本学講義」授業概要報告（朝治啓三担当）10 月 14 日実施

I A 4 用紙 1 枚を配布し、「1993 年に EU が発足した世界史的な意義について自説を簡潔に述べなさい」というテーマで 10 分間を与えた。すぐに回収し、書かれた内容について各自に質問した。

殆どが I ~ 2 行しか書けなかった。EU について正確に理解している答案は皆無。世界史的意義については全く触れていなかった。質問すると、前期の授業では一度もこの種の議論をしなかったとのことであった。

II 20 世紀末のヨーロッパ共同体の起源が中世ヨーロッパにあることを、カール大帝のフランク王国、オットー朝の神聖ローマ帝国、13 世紀のアンジュー帝国等にあることを講義した。「帝国」が結成された原因としては、各地域や民族ごとに「国民国家」を形成することが出来ず、相互の対立を仲裁する上級権力としての「帝国」が必要であったこと、イスラム、バイキング、マジヤール、ロシア、トルコなど外部世界からの圧力に共同して対処する必要があったことを、例を挙げて述べた。

III 20・21 世紀の帝国、共同体とは何かについて、講義を踏まえて討論させようとした。発言がなかったので、教師から質問した。EU は国民国家か帝国か、何故この時期に結成されたのか、などについて問うたが、しどろもどろの答えしかなかった。

IV 討論を踏まえて、I と同じテーマでレポートを作成し、1 週間後に提出させた。